



**【問合せ先】**

第八管区海上保安本部海洋情報部  
海洋情報部監理課長 伊藤 清則  
課長補佐 飯塚 正城  
TEL 0773-76-4100 (内線 2510・2511)

令和5年8月31日  
第八管区海上保安本部

## 舞鶴市市制施行80周年記念事業『舞鶴の古地図と海図展』 ～80年前の「舞鶴港」海図を展示します～

第152回水路記念日<sup>※1</sup>（9月12日）を迎えるにあたり、第八管区海上保安本部は、舞鶴市立西図書館が市制施行80周年<sup>※2</sup>記念事業として開催する古地図展に共催して、舞鶴市の誕生から現代に至る舞鶴港の海図を中心とした展示を行います。

なお、舞鶴市立西図書館との共催による企画展示は初めてです。

### 1 実施内容

西図書館所蔵の明治～昭和初期の古地図（実物）と海洋情報部所蔵の明治、大正、昭和、平成、令和に刊行された舞鶴の海図（複製）などをパネル展示し、海図からみた舞鶴市の変遷を見ることができます。

#### (1) 日時

令和5年9月8日（金）～17日（日） 午前10時から午後6時  
（西図書館の休館日の9月11日（月）を除く）

#### (2) 場所

舞鶴市立西図書館 研修室（入場無料）  
住所：京都府舞鶴市字円満寺100-8

#### (3) 主な展示品

舞鶴市立西図書館：

- ・ 図書館所蔵の古地図<sup>※3</sup>（全8点） **【通常非公開】**

第八管区海上保安本部：

- ・ 機密海図<sup>※4</sup>「舞鶴軍港」 1943年（昭和18年）刊行
- ・ 舞鶴港の明治～令和に至る海図（全5点）

### 2 取材について

現地取材をご希望される社は、事前に上記の問合せ先までご連絡ください。

### 3 参考情報

#### ※1 水路記念日

海上保安庁では、現在の海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局の設立を記念して9月12日を水路記念日と定めています。

明治初期、諸外国が、我が国周辺海域の水深を明らかにし海図を作製していく中で、国防のみならず海運・通商のためにも、我が国が自ら測量して海図を作製することが重要課題となっていました。そのため、我が国独自で海図を作製するために明治4（1871）年に設立されたのが兵部省海軍部水路局です。

#### ※2 舞鶴市市制施行80周年

舞鶴市は、昭和18（1943）年5月27日、旧・舞鶴市（西地区）と東舞鶴市（東地区）が合併して誕生しました。令和5（2023）年は、市制施行80年目の節目の年として、さまざまな記念行事が行われており、本展もその一つです。

なお、現在の市域は、昭和32（1957）年の加佐町編入により形成されたものです。

#### ※3 舞鶴市立西図書館所蔵の古地図

舞鶴市における図書館の歴史は、明治45年の「舞鶴明倫尋常高等小学校附属町立図書館」の開設にまでさかのぼります。現・舞鶴市立西図書館は、この流れを受け継いで、平成2年に現在地に開館した図書館です。そのため、近代から近世にかけて作成された舞鶴市域の絵図等を約60点所蔵しており、当時の様子をうかがい知ることができる貴重な資料となっています。それらはデータ化され、舞鶴市が刊行した『舞鶴の絵地図』（平成29年3月）に紹介されています。

#### ※4 機密海図

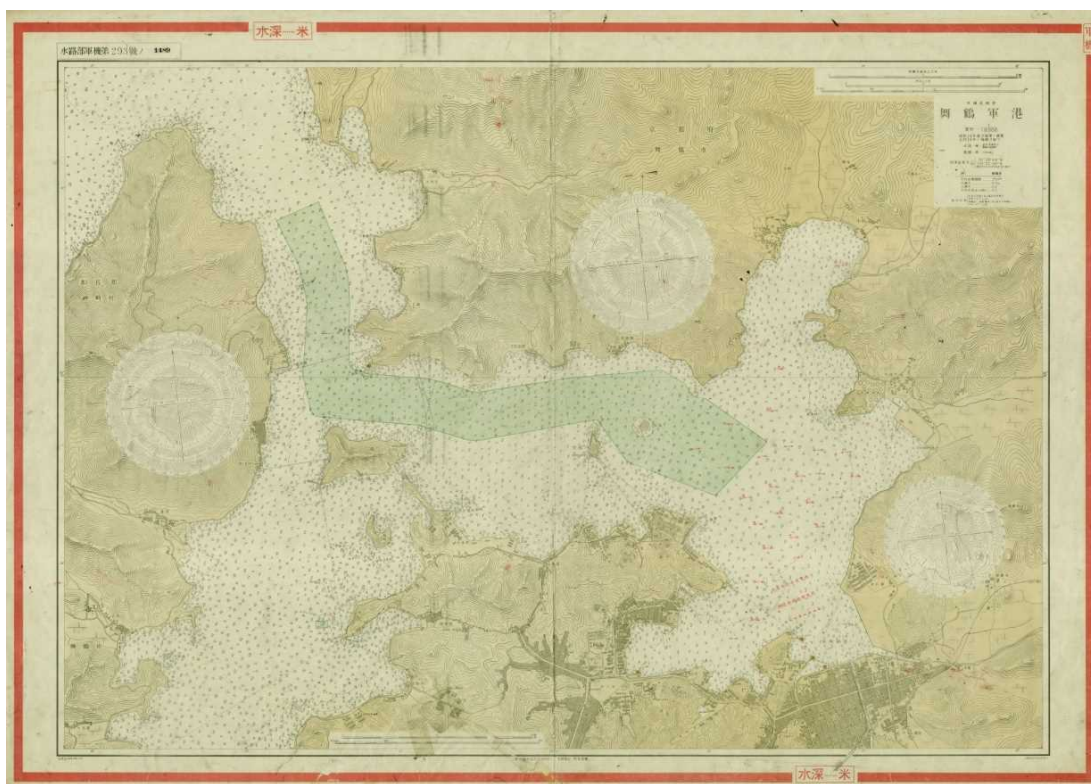
機密海図は、昭和初期から終戦までに海軍の作戦用に特化して作製された海図です。機密海図の重要度に応じて、一番上位を「軍機」、続いて「軍極秘」、それから「秘」という3種類の海図に区分されています。

軍機海図及び軍極秘海図には、海図の周囲に赤い帯が印刷され、図の左上に「水路部軍機」などといった名称と共に通し番号が入っているのが特徴です。

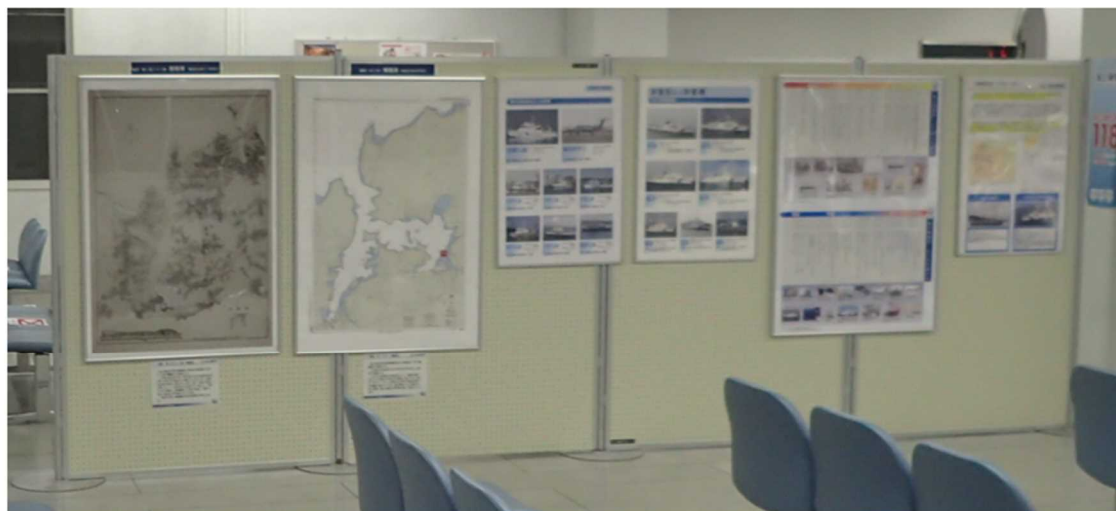
古地図「西町（明治時代作成）」（出典：舞鶴市立西図書館所蔵）



機密海図「舞鶴軍港（軍機海図293 1943年（昭和18年）刊行）」



パネル展示例(令和4年 舞鶴フェリーターミナル2F待合室)



舞鶴市立西図書館  
アクセスマップ



海上保安庁(JCG)(C)Esri Japan

舞鶴市立西図書館  
展示会場案内図

